

小学校高学年

～災害を防ぐ行政の取組
（公助について）～
発問計画

3、4 時限用

2. 水害を防ぐ行政の取組(公助について)

身近（校区）にある水害を防ぐための施設について、それぞれの施設の役割や位置、誰がつくったのか（管理しているのか）等、資料を活用して調べる活動を通して、水害からわたしたちの命や生活を守るために、市や県、国が様々な工夫をしていることを理解する。

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
導入 (10分)	1. 資料をもとに河川施設への関心を引き出す (資料1を提示する) 発問： 水害を防ぐために、どのような工夫がされているのでしょうか？ <学習の課題> 「水害を防ぐために、どのような取り組みがされているのだろう」 <学習の予想> ・堤防を強くする。 ・川があふれないか見張る。 ・川の幅を広げる。 など	・学習課題をもつために、既習資料も活用して、考えるよう問いかける。	【資料1】河川施設 水害を防ぐ施設 私たちの地域には水害を防ぐ施設がいくつもあります
展開 (25分)	2. それぞれの施設の役割や管理について、資料を使って調べる。 (資料2、3を配布する) ※グループワーク： 『河川堤防』『樋門』などのグループに分かれ、それぞれの施設の役割や管理者について、資料を使って調べる。 - 調べた内容をワークシートにまとめる。 発問： 資料から、どんなことが分かりましたか？分かったことや考えたことを発表してください。 ・堤防は、雨で川の水が増えたときに、まちを守るためにある。 ・堤防は、国だけでなく、県や市も管理している。 など ※解説： - 市や県、国など、公の機関によって行われている災害を防ぐ工夫（取り組み）を、「公助」という。 - 特に施設を整備する取り組みを「ハード対策」という。	・身近な河川等には、水害を防ぐための施設がたくさんあることに気づくように資料からわかることを問いかける。 ・それらの施設は、市だけでなく、県や国など、様々な機関の人が協力して管理していることに気づくように助言する。	【資料2】河川施設資料 長良川の水害を防ぐ施設【樋門（ひいもん）・樋門（ひいもん）】 樋門（ひいもん）樋門（ひいもん） 水害を防ぐ施設【堤防（ていぼう）】 堤防（ていぼう） 長良川の水害を防ぐ施設【河川防災センター】 河川防災センター 水害を防ぐ施設【治水堤防（はいついせう）】 治水堤防（はいついせう）

2. 水害を防ぐ行政の取組(公助について)

本時のねらい(目標)

水害被害を最小限におさえたり、安全に避難するための取り組みについて、それぞれの取り組みの役割や誰の取り組みか等、資料を活用して調べる活動を通して、水害からわたしたちの命や生活を守るために、市や県、国が様々な工夫をしていることを理解し、関心を深める。

※指導計画の「-----」は、予想される児童の発言(児童に伝えたい発言)を示す。

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
導入 (10分)	1. 資料をもとにハード対策以外の取り組みへの関心を引き出す (資料4を提示する) 発問： 水害を防ぐため、あるいは被害をできるだけ小さくするために、どのような工夫がされているのでしょうか？ <学習の課題> 「水害被害を少なくするために、どのような取り組みがされているのだろう」 <学習の予想> ・河川の水位を確認している ・水防活動をしている ・ハザードマップをつくっている など	・ 前回の授業の内容を振り返り、今日の学習の目的について全体で確認する。	【資料4】ソフト対策 川の水害を防ぐための取り組み 川の水害を防ぐために普段から取り組んでいることがあります 
展開 (25分)	2. 施設の管理(ハード対策)以外の公助の取り組み(ソフト対策)について、資料を使って調べる。 (資料5、6を配布する) ※グループワーク： ・『河川パトロール』『水防訓練』などのグループに分かれ、それぞれの取り組みの内容や実施者について、資料を使って調べる。 ・ 調べた内容をワークシートにまとめる。 発問： 水害を防ぐために、施設をつくって管理する他に、どのような工夫があるのでしょうか。 ・川や橋に異常がないか、パトロールしている。 ・水害に備えて、市や県、国、水防団などが一緒に訓練をしている。 ・水害からまちを守るために、たくさんの方が、様々な工夫をしていることが分かった。 など	・ 施設の管理などの「ハード対策」だけでなく、水害の発生に備えた訓練や、水位の監視などの「ソフト対策」を行っていることを伝える。 ・ 訓練やパトロールなど、市だけでなく、県や国などとも協力して実施していることを伝える。	【資料5】ソフト対策資料 川の水害を防ぐための取り組み【河川パトロール】 河川パトロール 「河川がよくなるように、河川の水位や流れを確認し、危険な場所を知らせる。また、河川の清掃活動も行う。」  川の水害を防ぐための取り組み【水防訓練】 水防訓練 「水害が発生した場合、迅速に対応するため、市や県、国、水防団などが一緒に訓練を行う。」  川の水害を防ぐための取り組み【ハザードマップ】 ハザードマップ 「水害が発生した場合、危険な場所や避難場所を知らせる。また、水害の発生を知らせるための仕組みも作る。」 

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
	・特に施設を整備する取り組みを「ハード対策」という。		【資料6】国土交通省のソフト対策事例 
終末 (10分)	3. 学習のまとめをする。 学習のまとめ 私たちのくらしを守るために、市（町）や県、国などが水防団などと協力して普段から活動をしている。	・学習でわかったことをノート（ワークシート）に記入させる。	【ワークシート】 